

中央卸売市場会計（令和元年度）

（1）財政状況

市場事業は、地方公営企業法の財務規定等の一部適用事業として、独立採算を原則に運営している。

中央卸売市場では、これまで、生鮮食料品等の需要の増大と社会環境の変化等に対応するため、新市場の建設や、既存市場の整備などに毎年度多額の投資を行ってきた。その結果、施設の維持管理経費や減価償却費、企業債利息などの経費が著しく増大したが、一方で、市場の主たる収入である使用料については、物価対策上の配慮から昭和32年以来、18年も据え置かれた時代もあり、費用を賄うに足りる収益を得ることができないまま経営されてきた。

こうしたことから、市場の収支は、旧江東市場の土地売却があった昭和59年度を除き昭和46年度から昭和62年度まで赤字が続いた。昭和63年度に旧神田市場等の跡地売却により、昭和63年度から平成6年度まで黒字となったが、営業費用の増加と受取利息の低下などにより、平成7年度に再び赤字となり、それ以後、赤字幅が拡大した。

このため、今後の施設整備財源を確保し、市場財政の健全化を図るため、経費節減等事業の効率的運営を徹底するとともに、平成12年4月に16%（12年度8%、13年度14%、14年度16%の段階的实施）の使用料改定、平成26年4月及び令和元年10月に消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う使用料改定を行った。こうした取組により、平成12年度から平成27年度にかけて、特別損失の生じた平成16年度、平成19年度及び平成26年度を除き、黒字で推移してきたが、平成28年度及び平成29年度は、豊洲市場への移転準備経費の増加などにより、赤字となっている。

（2）令和元年度予算概要

中央卸売市場は、都民の日常生活に不可欠な生鮮食料品等の円滑な流通と安定した供給を確保するため重要な役割を担っている。このため、令和元年度予算においても限られた財源を重点的、効率的に配分して市場の抱える重要課題に対応できるものとした。

支出予算の総額は、542億4千9百万円で、平成30年度に比べ32.4%、金額で259億4千8百万円の減少となっている。

収益的収入と資本的収入の合計額は、800億7千2百万円となっており、収入と支出の差し引きでは258億2千3百万円の収入超過となっている。

ア 収益的収支

収入としては、営業収益が182億9千8百万余円で、内訳は、売上高割使用料が36億3千4百万余円、施設使用料が87億4千万余円となっている。

営業外収益は、62億2千6百万余円で、内訳は、受取利息等が18億5千8百万余円、一般会計補助金が43億6千8百万円となっており、特別利益が、539億2千6百万余円となっている。

これら営業収益、営業外収益及び特別利益を合わせた収益的収入の合計は、784億5千2百万円である。

支出については、市場事業費の総額が483億7千1百万円で、そのうち、営業費用が342億3百万余円である。

営業費用のうち、人件費及び一般管理等に要する経費である管理費が200億9千1百万余円、業務の指導・監督及び生鮮食料品の統計資料作成等の経費である業務費については、1億7千1百万余円である。

減価償却費、資産減耗費は、固定資産の減価償却及び除却損等を計上し、139億4千万余円である。

営業外費用は、49億4千4百万余円であり、このうち、生鮮食料品の流通の安定及び消費者への食生活情報の提供等に要する経費である生鮮食料品流通対策費が、29億8千4百万余円と

なっている。

支払利息及企業債取扱諸費は、19億1千8百万余円で、その他、繰延勘定償却、消費税及地方消費税、雑支出を計上した。

また、固定資産除却費及びその他特別損失として、特別損失を92億2千1百万余円計上している。

イ 資本的収支

収入は、企業債が15億3千3百万円、その他資本的収入が8千7百万円で、合わせて16億2千万円となっている。

支出は、市場施設の整備等に要する経費であり、総額は58億7千8百万円である。

このうち、建設改良費は51億1千万余円であり、内訳は施設拡張費が5億2千4百万余円、施設改良費が45億5千8百万余円、工器具・備品等の購入に充てる資産購入費が2千6百万余円である。

施設整備については、後述のとおり、平成29年2月に策定し、平成30年5月に改定した「第10次東京都卸売市場整備計画」に基づいて進めているところであり、今年度予算で計上した市場別の主な施設整備内容は以下のとおりである。

市場名	内 容
豊 洲 市 場	ターレ充電口増設工事
食 肉 市 場	市場棟仮設冷蔵庫整備工事
大 田 市 場	昇降機改修工事（事務棟）
豊 島 市 場	仮設卸売場B棟改修工事
淀 橋 市 場	総合事務所棟外壁その他改修工事
足 立 市 場	スロープ下ほか便所改修工事
板 橋 市 場	花き棟仲卸売場排水管取替工事
世 田 谷 市 場	空調設備更新工事
北 足 立 市 場	給水管改修工事
多 摩 ニ ュ ー タ ウ ン 市 場	管理棟便所改修工事
葛 西 市 場	花き棟ほか便所改修工事

その他、投資が2億7百万円、国庫補助金返納金が5億6千万余円である。

(3) 令和元年度中央卸売市場会計予算総括表

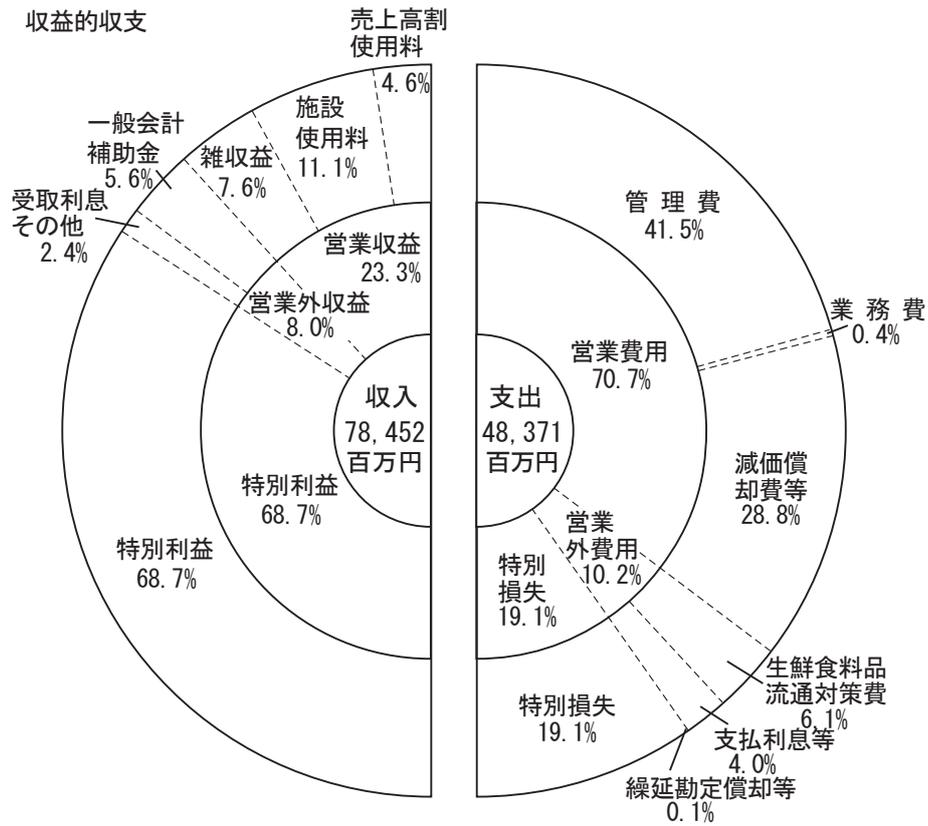
(単位：千円)

科		目	令和元年度 当初予定額	平成30年度 当初予定額	増(△)減	
収益	収	営業 収益	売上高割使用料	3,634,500	3,570,542	63,958
			施設使用料	8,740,500	8,604,458	136,042
			雑収益	5,923,370	5,034,426	888,944
			計	18,298,370	17,209,426	1,088,944
	入	営業外 収益	一般会計補助金	4,368,000	4,627,000	△259,000
			受取利息その他	1,858,915	1,801,574	57,341
			計	6,226,915	6,428,574	△201,659
		特別利益	53,926,715	0	53,926,715	
	合計	78,452,000	23,638,000	54,814,000		
	支出	営業 費用	管理費	20,091,556	24,904,321	△4,812,765
			業務費	171,817	173,889	△2,072
			減価償却費等	13,940,142	9,328,286	4,611,856
			計	34,203,515	34,406,496	△202,981
		営業外 費用	生鮮食料品流通対策費	2,984,329	3,395,436	△411,107
支払利息及企業債取扱諸費			1,918,738	862,424	1,056,314	
繰延勘定償却等			41,711	174,741	△133,030	
計			4,944,778	4,432,601	512,177	
予備費		1,000	1,000	0		
特別損失		9,221,707	24,715,903	△15,494,196		
合計	48,371,000	63,556,000	△15,185,000			
収支差引額	30,081,000	△39,918,000	69,999,000			
資本的 収支	収	企業債	1,533,000	6,757,000	△5,224,000	
		一般会計出資金	0	0	0	
		国庫補助金	0	801,000	△801,000	
		その他資本収入	87,000	1,000	86,000	
		計	1,620,000	7,559,000	△5,939,000	
	支出	建設改良費	5,110,264	13,496,457	△8,386,193	
		企業債償還金	0	3,063,000	△3,063,000	
		投資	207,000	72,000	135,000	
		国庫補助金返納金等	560,736	9,543	551,193	
		計	5,878,000	16,641,000	△10,763,000	
収支差引額	△4,258,000	△9,082,000	4,824,000			

(注)資本的収入が、資本的支出に対し不足する額は、「損益勘定留保資金その他」をもって補てんする。

(4) 令和元年度 中央卸売市場会計予算の構成割合

ア 収益的収支



イ 資本的収支

